



福 すくすく

No.118
令和8年2月

立春を迎えて暦の上では春となりましたが、まだまだ肌寒い日が続きます。今後も引き続き手洗い、うがいで病気を予防し、免疫力アップのためにも生活リズムを整えていきましょう。また、最近では子どもの花粉症も増えてきています。気になる症状がある場合は、早めの受診をお勧めします。

感染症情報

今年の冬は雪が降り続きますが、天気予報どおりに警報級の大雪にはまだ至っていません。立春をすぎてこれからどうなりますでしょうか。さて、年末からインフルエンザの流行が続いています。大流行にはなっていませんがA型に代わってB型インフルエンザが主役になってきました。加えて、溶連菌感染症や手足口病といった季節外れの感染症の流行もありますし、RSウイルスやヒトメタニューモウイルスも確認されています。油断はまだだめですね。

インフルエンザ 先月は83名(A型57名、B型26名)。A型インフルエンザにかわってB型インフルエンザが増えてきました。坂井市内でも三国中学校、加戸小学校などで学級閉鎖ができています。今後、保育園でも感染が拡大してくると昨年11月のように再びインフルエンザ警報となるかもしれません。

溶連菌感染症 先月は35名。溶連菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、熱、体や手足の発疹などが出ます。舌はイチゴのようになります。嘔吐などの胃腸炎症状のこともあります。1歳未満の子に感染するのはまれで、5~15歳の子どもが感染しやすいです。

RSウイルス感染症 先月は9名。大きな流行にはなっていませんが今月も続きそうです。症状は咳や鼻水、鼻閉など、かぜの症状で始まりますが、しだいに咳がひどくなりゼイゼイと苦しそうな息になってきます。途中で肺炎や中耳炎になることもあり、特に6ヶ月未満の赤ちゃんに感染すると重症化しやすいようです。

ヒトメタニューモウイルス感染症 先月は3名。症状はRSウイルスとよく似ているため流行に気がつかないこともあります。RSウイルス感染同様、赤ちゃんに感染すると重症化しやすいため要注意です。

手足口病 先月は16名。本来夏に流行する夏かぜの一種ですが、今頃感染が拡大してきています。手のひら、足のうら、口の中と口の周りに小さな水ぶくれができる病気です。おしりやひざにできることもあります。今年の手足口病は最初に熱がでて後から発疹のことが多いです。手足の水ぶくれは痛みませんが、口の中が痛くて食べられないことがあります。

伝染性紅斑 先月は4名。ほっぺがりんごの様に赤くなるので「りんご病」ともよばれています。太ももや腕には赤い斑点やまだら模様ができます。頬がほてったり少しかゆくなることもあります。妊婦さんにうつさないよう要注意です。

ヘルパンギーナ 先月は3名。手足口病と同じ「夏かぜ」の代表です。

アデノウイルス感染症 先月は5名。うち2名が咽頭結膜炎で目だけの症状で熱はありませんでした。

胃腸炎 先月は39名。いくつかの保育園で小流行があります。

マイコプラズマ感染症 先月は5名。

百日咳 先月は1名。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症 先月は3名。

水痘 先月は発生なし。

おたふくかぜ 先月は1名。

麻しん・風しん 全国的に麻しん発生が報道されています。坂井市でも昨年9月に1例報告がありました。麻しんに対する免疫がなさそうな方は予防接種をお勧めしますが、在庫が乏しく事前に連絡いただいてから来院するようお願い致します。

つちだ小児科「イチケツ」のサイトは「丸岡町近郊の子どもの感染症」をお届けしています。感染症情報に加えて、感染予防対策についても書いているので一度覗いてみて下さい。



マスクを着けるときは

マスクを着けるときは、口と鼻を覆って、鼻の部分にすき間ができないようにフィットさせて。子どもがいやがったら、無理に着けるのは避けましょう。3歳以上の子どもがマスクを使うときは、まず、鼻もかくす正しい着け方を伝えましょう。



※2歳未満の子どもにマスクは不要です。

着け外してできるように練習しましょう

息苦しいときや暑いときに、自分で外せない危険です。着け方だけでなく、外し方もしっかり練習しましょう。

「外していい」と伝えましょう

具合が悪いときや暑いときに、子どもが自分で外せるよう、「少しでも苦しいときは外していい」と伝えましょう。

汚れたら替えましょう

マスクが汚れたときや、地面に落とした後に、そのまま着けるのは不衛生です。清潔なマスクを使えるよう、替えを持っておくようにしましょう。

かぜからくる急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管(鼻と耳をつなぐ管)を通して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。



予防
●鼻水はこまめにとる
●はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ

繰り返しやすい、滲出性中耳炎に移行することがあるので、きちんと治すことが大切

おねがい

- ☆すくすくハウスを連日利用される方は、すくすくハウスのファイルを持ってつちだ小児科を受診してください。
- ☆病院を受診される前に薬を服用された方は、必ずつちだ小児科を受診された際にお伝えください。

すくすくハウスの一コマ

すくすくハウスには、色々なジャンルの絵本があります。子どもが自分で選んで棚から取り出して読んでいます。小さい年齢のお友だちは、職員の膝で読んでもらうのも楽しい時間です♪
久しぶりに利用したお友だちは、「あの絵本どこにある?」と聞いてくる子もいます。新しい本を少しずつ増やしていけるといいなと思っています!

